

- 日本で製造・販売される消防用機器等は、消防庁が策定する規格・基準及び第三者機関による厳格な検定等により、確実な作動を担保。
- ニーズを反映した細かな設計、メンテナンスの容易さ、高い耐久性等、優れた特長を具備。
- これらの優位性について、海外における理解を得ることにより、日本の消防用機器等の採用の拡大を図る。

※ インフラシステム輸出戦略(平成30年度改訂版)平成30年6月7日経協インフラ戦略会議決定

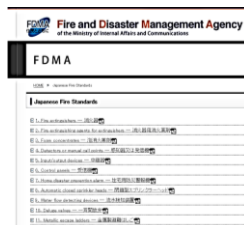
急激な都市化や経済発展に伴い大規模ビルや石油コンビナート等における火災や爆発のリスクが増大している新興国等に対して、火災予防制度、消防用設備、消防車両、資機材等を海外展開

日本の消防用機器等の品質、規格・認証制度の発信

- 海外向けリーフレットの作成
- 日本の規格・認証制度の英訳のホームページ公開
- 毎年アジア諸国で開催する国際消防防災フォーラムにおいて、規格・認証制度の優位性をPR



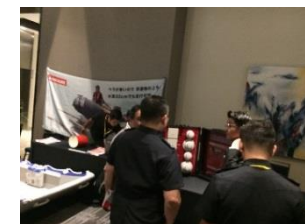
海外向けリーフレット（2018年作成）



消防庁ホームページ

日本企業に対するサポート

- 関係工業団体、本邦企業等との懇談会を開催
- 日本貿易振興機構（JETRO）と連携したセミナーの開催
- 英訳した規格適合証明書の発出
- 日本企業による消防用機器等の紹介・展示の場の提供



国際消防防災フォーラムでの日本企業の展示の様子

個別の国への働きかけ

- 日本の消防に関心を示すベトナム等の東南アジアを始めとする国において、日本規格に適合する消防用機器等の販売・設置等が認められるよう交渉を進め、日本企業が参入しやすい環境整備を行う。

**「日本国総務省とベトナム社会主義共和国公安省との消防分野における協力覚書」を締結
（2018年10月8日）**

